

# さみどり

二宮町立一色小学校 学校だより  
平成29年度 第6号(11/28)  
発行者：校長 古正 栄司  
(一色小学校：0463-71-1543)

## 【「学校へ行こう週間」】10/20～10/26

神奈川県では平成13年度から始まったこの取り組みは、すっかり定着したようです。今年度もたくさんの保護者や地域の皆さんが来校され、子どもたちの様子を参観されました。土曜参観日のふれ合い美化活動にも当日参加も含めて大勢の方が協力してくださいました。本当にありがとうございました。一色小学校では日頃の学習活動だけでなく、音楽会やなかよし企画、「いのちの話」などをこの一週間に計画し、より足を運んでいただけるよう努めています。

来年度も10月下旬に実施予定です。

## 【命の授業】10/24



「命の大切さを伝える助産師の会」の方々による、5・6年生を対象とした体験型の学習を体育館で行いました。当日は、保護者の方も13名参加されました。「誕生日を『命の記念日』と呼ぶ」「生きていてだけで百点満点」など、大人の心にも響くお話でした。つつい自分にも我が子にも無理をさせてしまうことがあります。たまには、無理しない、何もしない、「生きていてだけで百点満点」という時間があってもいいかもしれませんね。



「命の大切さを伝える助産師の会」の方々による、5・6年生を対象とした体験型の学習を体育館で行いました。当日は、保護者の方も13名参加されました。「誕生日を『命の記念日』と呼ぶ」「生きていてだけで百点満点」など、大人の心にも響くお話でした。つつい自分にも我が子にも無理をさせてしまうことがあります。たまには、無理しない、何もしない、「生きていてだけで百点満点」という時間があってもいいかもしれませんね。

## 【音楽会】10/21

リハーサルも含め、たくさんの方々にも子どもたちの歌声や演奏を聴いていただきました。



1年生



2年生



3年生



4年生



5年生



6年生

## 【芸術鑑賞】10/26

9人組のドラムパフォーマンス集団・鼓和(コア)は、主に映画「ドラムライン」で使用されているマーチングパーカッションを用いた、国内初のプロパフォーマンス集団です。打楽器ならではの迫力ある演技を、参加型プログラムで会場にいる全員が「皆で気持ちをひとつに合わせる」演出を交えて披露してくれました。最前列の1年生が「床がすごく揺れていた」と言っていました。本物を生で見る価値がここにあります。心の耕し、「情操教育」と同時に、キャリア教育の側面もあります。この日の感動が忘れられず、将来は自分も音楽家になりたい子が現れるのを楽しみにしています。



## 【やまゆり里山合唱祭】11/5

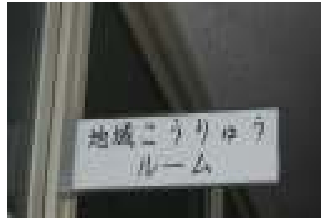
一色小学校区地域再生協議会事業の一つとして、昨年を引き続き、一色小学校体育館で音楽祭が行われました。今年度は新たに募集・結成された「やまゆり合唱団」が音楽祭のトリを務めました。この合唱団には、一色小学校の児童や保護者、教職員も加わり、素敵な歌声やピアノの伴奏等を披露しました。すでにラディアンでのイベントにも出演していますが、平成30年1月20日(土)にラディアンで行われるイベントに出演を予定しています。一色小学校を取り巻く地域が元気になり、活気あふれる学校になることを期待しています。



## 【「地域こうりゅうルーム」の設置】

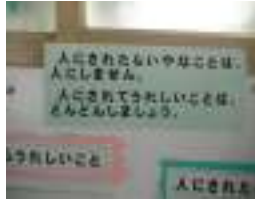
これも、一色小学校区地域再生協議会事業の一つです。学校を地域再生・活性化の拠点とし、協議会の会合や子どもから高齢者まで皆が生き生きと活躍・交流できるよう、学校の南棟1階の1部屋を利用することになりました。 ※裏面に続く

その部屋の名称が「地域こうりゅうルーム」です。土日も含めて、少しずつ利用されています。この部屋を利用する方々と一色小の子どもたちとの交流の輪が広がるといいなと思っています。



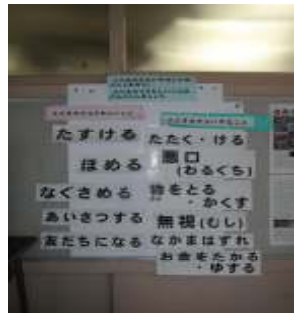
### 【朝会から】11/7朝 体育館にて

テーマは「いじめをなくす」です。今回は、敢えて「いじめ」という言葉は使いませんでした。



◎人にされたらいやなことは、人にしません。

◎人にされてうれしいことは、どんどんしましょう。



まず、黒板にいろいろな「行動」を書いたカードを貼り、3年生に観点を伝えずに「仲間分け」をしてみました。すると、少し黒板を眺めただけでさつと「いいこと」と「わるいこと」という観分で分け始めました。さすが、3年生です。続けて、全員に問いかけました。「こちらの仲間のことを人からされたらうれしい人?」「こちらの仲間のことを人からされたらいやな人?」「自分は人からされたら嫌なのに、時々人になってしまう人がいるよね・・・」そんなやり取りをしながら『いじめは絶対ダメ』というメッセージを伝えました。この事は、繰り返し繰り返し伝える必要があると考えています。

朝会で使ったカードは、校長室の廊下に掲示してありますので、来校される機会がありましたら、ちょっと眺めてみてください。

【豆腐づくり】11/17(金)

#### 「すがたをかえる大豆」

3年生が国語のこの単元の学習の発展として、豆腐づくりにチャレンジしました。当日お手伝いをしてくださったのは、二宮町食生活改善推進団体のヘルスマイトの方々です。ミキサーにかけてなめらかになった大豆の汁を鍋で沸騰・・・から始まり、豆腐と卵の花を完成させ、給食の時間に試食するところまで、一気に取り組みました。担任と支援教育補助員の2人では、半日でここまでできなかったかも知れません。「おいしい」「家でもやってみたい」子どもたちからは様々な感想が聞かれました。この体験を通じて、3年生の子どもたちは「豆腐は大豆から作られる」という単なる知識としてではなく、生きて働く確かな学力として学ぶことができました。さらには、人とのつながりができ、感謝の気持ちや自分で作った達成感なども味わうことができました。ヘルスマイトの皆様、ありがとうございました。



### 【オールフレンズ集会】11/16(木)

1年生から6年生までの異学年で構成する「たてわり班」で活動する児童会活動です。この日は給食を止めて、お弁当を持参します。

4時間目まで授業をした後、お弁当や水筒などが入ったカバンを手に、体育館での開会式の後、外へ移動です。好天に恵まれたおかげで、校庭や職員室前の通路で仲良く円座で楽しげに食べていました。保護者の皆さんにはお弁当作りでご負担をおかけしました。ありがとうございました。



食べ終わると、いよいよ班ごとに活動開始です。校舎内、校庭、友情の山、それぞれに用意されたポイントでゲームをしたり問題を解いたりして、楽しい時間を過ごしました。その間、みんなで自然に協力したり、任せたり、一緒に喜んだり、応援したり、・・・同学年だけの集団の場合とは、一味違った心情の育ちや感情の表出が期待されるといいますが、正にその通りです。これからも大切にしていきたい教育活動の一つです。



### 【コミュニティ・スクール化に向けて】

学校運営協議会（制度としては平成16年度に制定されている）を設置している学校をコミュニティ・スクールと言います。現在、コミュニティ・スクール化に向け、準備委員会で取り組んでいる活動の一つ、「見守り活動」について紹介します。

「登下校時の子どもの見守り活動」には、地域の見守り団体や老人会、個人のボランティア、民生委員、主任児童委員、少年補導員会、PTA、学校、自治体、警察・・・本当にたくさんの人たちや団体等が関わっています。しかし、目的は一つなのに、それぞれが独自に場所や曜日などを計画し見守り活動をしているので、重なりや、反対に見守り空白地帯があったりしていました。そこで、準備委員が音頭をとって、主な見守りグループの代表の方々に学校に集まいただき、現在、問題解決に向けて、話し合い・情報交換を進めています。この他にも、学習支援の在り方や美化活動、地域と学校の連携などについて話し合いを進めています。平成30年1月20日(土)の午後に、ラヂアンで「コミュニティ・スクール フォーラム」が開催され、町民の方々にコミュニティ・スクールについて理解を深めていただくイベントが予定されています。ぜひ、ご参加ください。